プロモツール株式会社
プレスリリース：2026年11月06日

プロモツール、オリジナルアロマ調香案件数が1～10月で前年同期比150%以上に

ラグジュアリーな空間にふさわしい、ブランド独自の香りを設計。調香・分析・研究の専門チームが、品質と安全性を支える

あらゆる香りを科学し、デザインするセントテクノロジーカンパニー、プロモツール株式会社（本社：東京都文京区、香り技術研究所：埼玉県さいたま市、代表取締役社長CEO：緒方健介、以下：当社）は、2026年のオリジナルアロマ調香案件数が、1～10月累計で前年同期比150%以上となったことをお知らせします。

当社は、マスター調香師・渡辺武志を筆頭に、フレグランスアナリスト、若手調香師、エグゼクティブフェローといった異なる専門性を持つメンバーが連携する開発体制を整えてきました。JALエグゼクティブラウンジや飛鳥IIIなどの香りを手がけてきた調香技術に、分析・研究の知見を融合。品質と安全性に高い基準を求めるラグジュアリーな空間やブランドに向けて、その世界観にふさわしいオリジナルアロマを提供しています。



オリジナルアロマは、ブランドの世界観と上質な体験を伝える資産へ

2026年のオリジナルアロマ調香案件数は、1〜10月累計で前年同期比150%以上となりました。また、年末を待たずに昨年1年間の実績を超えています。

かつてオリジナルアロマは、一部の高級ホテルや大手ブランドが取り組む特別な施策と見られていました。しかし近年は、ロゴやブランドカラーと同じように、自社の世界観を伝える「ブランド資産」として香りを持つ企業が増えています。ホテルや航空会社に加え、自治体、化粧品メーカー、不動産会社など、相談をいただく業種も広がっています。

自社だけの香りを一からつくり、空間やグッズ、顧客体験へと展開する。空間で感じた香りを、自宅でも楽しめる製品へとつなげることで、その場所で過ごした上質な時間を日常にも届けることができます。オリジナルアロマは、ブランドの世界観を伝え、顧客とのつながりを深めるブランド資産として活用が広がっています。

オリジナルアロマの開発実績・導入一覧はこちら

一流の空間にふさわしい香りを支える、専門チームの開発体制

件数の伸びを支えているのが、香り技術研究所の開発体制です。当社は、ひとりの調香師にすべてを委ねるのではなく、異なる専門性を持つメンバーが役割を分担し、チームで香りをつくる体制を整えてきました。

マスター調香師／香り技術研究所 所長　渡辺 武志

香り技術研究所 所長の渡辺武志が、香りの方向性の立案と処方設計を統括します。JALエグゼクティブラウンジや飛鳥IIIなどの香りブランディング案件を主導してきた経験を、チーム全体の品質基準として共有しています。

フレグランスアナリスト　調香師　西野 静恵

化学エンジニア出身の西野静恵が、成分分析や試験評価を担当します。香りを数値やデータで裏付けることで、仕上がりの再現性と安全性を高めています。

調香師　鈴木 はるの

調香師育成コースの第1期生として入社した鈴木はるのが、マスター調香師の指導のもとで試作や調合を担います。当社が2027年の香りトレンドとして提案する「HINOKI & THYME」の制作にも参加しまし

た。

エグゼクティブフェロー（首席研究員） 横山 弘

元・株式会社コーセー商品開発部GMの横山弘が、精油や機能性成分の研究、製品設計の知見を開発に生かすとともに、次世代への技術継承に取り組んでいます。

工程ごとに専門家が関わることで、マスター調香師は香りの設計そのものに集中でき、開発のスピードと品質を両立できるようになりました。調香師の感性に、分析・研究による科学的な裏付けを重ねることで、ブランドごとの繊細な要望に応え、品質と再現性を追求しています。こうした知見をチームで共有し、若手の育成と技術の継承にもつなげています。

品質と安全性を求める一流企業に選ばれる理由

ラグジュアリーな空間で求められるのは、香りそのものの美しさに加え、空間との調和や、長時間心地よく過ごせる繊細な香り立ちです。さらに、空間芳香や肌に触れる製品など、用途に応じた品質と安全性への配慮が欠かせません。

当社が開発する香りは、国際的な香料安全基準であるIFRAスタンダードに準拠しています。また、空間フレグランス業界で唯一の日本香料工業会の正会員として、香料原料の選定や配合濃度、品質管理を厳格に行っています。

調香師の感性に加え、フレグランスアナリストによる分析と、エグゼクティブフェローによる研究・製品設計の知見を組み合わせることで、ブランドの世界観を表現しながら、安全性と再現性を備えた香りを安定して届けられる体制が整いました。こうした体制が評価され、JAL、飛鳥III、コーセー、資生堂など、品質と安全性に高い基準を持つ一流顧客からの依頼につながっています。

今後の展望

当社は今後も、香り技術研究所のチーム体制をさらに強化し、若手調香師の育成や調香AIの活用を進めながら、オリジナルアロマの開発力を高めてまいります。香りの設計から空間芳香、香りグッズ・OEMによる製品化まで一貫して支援し、「ラグジュアリーなオリジナルアロマならプロモツール」と想起していただける存在を目指します。

プロモツールのサービス「香りブランディング」について

プロモツールの「香りブランディング」サービスは、嗅覚が記憶や感情に強く結びつく特性を生かし、香りを通じてブランドや商品の価値を直感的に伝えるブランディング手法です。視覚や聴覚に偏りがち

な従来のプロモーションに対し、香りという感覚を加えることで、顧客の印象に残る体験を創出し、ブランド認知や好意形成を高めます。これまで4,000社以上との取引実績で培った知見を背景に、マスター調香師・渡辺武志を筆頭とする香り技術研究所の開発チームと、大手広告代理店にて世界的自動車メーカーを担当してきたブランディングコンサルタントである志賀久仁雄が連携し、企業の目的やブランドの世界観を深く理解したうえで香りを設計・展開することで、他社にはない香りを活用した本質的な差別化と、記憶に残るブランド体験の提供を実現しています。

近年はホテル、商業施設、自治体、化粧品メーカーなど幅広い業界から相談が増加しています。ブランドの世界観を表現する香りや、ラグジュアリーな空間にふさわしいオリジナルアロマをご検討の企業様は、プロモツールにご相談ください。香りの開発から空間での展開、香りグッズの製品化まで、目的や用途に応じてご提案します。

プロモツールの「香りブランディング」についてはこちら

お問い合わせはこちら

プロモツール株式会社について

あらゆる香りを科学し、デザインするプロモツール株式会社は、香料開発・調香・香り分析を中核とした香り技術（セントテクノロジー）を提供するセントテクノロジーカンパニーです。香り技術研究所を研究開発の中核拠点として、香りの研究・分析・調香から、オリジナルアロマによる香りブランディング、ホテル・商業施設・オフィス等の空間芳香、香水・化粧品・日用品をはじめとする香り製品OEM、香り見本（アロマテスター）まで、香りに関する幅広い事業を展開しています。

JALをはじめとする航空会社、ホテル、化粧品会社、不動産会社、自治体など、品質や安全性、ブランド表現に高い水準を求める顧客へ香りのソリューションを提供しています。科学と感性、さらに商品開発力を融合することで、香りとニオイに関する新たな技術と価値を創出し、「香り」を企業や社会の新たな価値へ変えることを目指しています。

会社概要

プロモツール株式会社

本社　　：東京都文京区本駒込6-5-3 ビューネ本駒込5階
香り技術研究所：埼玉県さいたま市北区宮原町3-161 大井ビル2階
代表　　：代表取締役社長CEO　緒方健介
事業内容　　：香料及び芳香器の製造販売
：(1)香りブランディング（オリジナルアロマ）
：(2)香り空間デザイン（国産高級業務用アロマディフューザー）
：(3)OEM（香料開発及び香水・化粧品の製造・販売/香りグッズ）
：(4)香り見本（アロマテスター）
：(5)香りプロモーション（香りDM等）
：(6)香りエンターテインメント演出
公式ホームページ　：https://www.promotool.jp/
公式オンラインストア　：https://essenceon.jp/store/
調香体験香房（オリジナルショップ）「L’esprit」：https://lesprit.shop/
インスタグラム　：https://www.instagram.com/lesprit_rikugien/

お問い合わせ先

プロモツール株式会社
担当：広報担当　井沢
TEL：03-5940-6637
FAX：03-5940-6685
お問い合わせ：https://www.promotool.jp/contact/

当プレスリリースURL
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000321.000023783.html
プロモツール株式会社のプレスリリース一覧
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/23783